
連携を密にして，老人クラブの活性化を

～市町村老人クラブ連合会事務担当者会議を開催しました～

4月26日（金）アスティとくしまにおいて，本年度の市町村老人クラブ連合会事務担当者会議を開催し，各市町村の担当者26名が出席しました。

会議は，本年度初めて老人クラブを担当する担当者もいることから，まず「老人クラブ」について，目的や組織，活動の全体像，補助金の根拠となっている老人福祉法の位置付けなどを説明，また，特に老人クラブの魅力や



老人クラブの重要性については，共通の理解として持っていただきたいこと，単位クラブの活動を支える重要な存在であり，老人クラブの活性化や会員増強に向けて，連携を密にしていきたいと伝えました。

その後，本年度の事業計画や予算について説明，本県で開催される四国老人クラブ大会への協力や，各市町村が実施主体となっている各種事業については，それぞれの地域で積極的に展開することで，老人クラブの存在感を高めてほしいとお願いしました。

特に，県老人クラブ連合会が昨年度提唱した「単位クラブ活性化推進運動」（平成24～26年度）では，単位クラブの休会・解散を未然に防ぐためにも，そのサインを見逃さないことが重要であり，その意味でも最も近い存在である市町村老連の役割が重要であることを説明しました。